

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回お示しする以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ情報の利用をご了解頂けない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

腎機能障害患者における SGLT 2 阻害薬の有効性および安全性に関する検討

### 【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

### 【研究責任者】 飛鷹 範明（助教、副薬剤部長）

### 【研究目的・意義】

ナトリウム・グルコース共輸送体 2（以下、SGLT 2）阻害薬は血中の糖について尿からの排泄を促し、血糖を下げる糖尿病治療薬です。現在、6種類の SGLT2 阻害薬が使用されていますが、日本人の成人 8 人に 1 人は慢性の腎臓病（以下、CKD）と推計されていることや糖尿病の合併症には糖尿病性腎症があるため、糖尿病の患者さんの中には腎臓の機能が低下している患者さんが多い現状があります。腎臓は尿を作る臓器であるため、腎臓の機能低下の進行によって尿を作る機能が低下すると、SGLT2 阻害薬の効果に影響を及ぼす可能性があります。そのため、有効性を十分に検討し、注意しながら使用する必要があります。また、腎機能が低下している患者さんにおいて、SGLT2 阻害薬の有効性と安全性を検証した情報は限られています。

そこで、本研究では腎機能が低下した患者さんに対し、安全な SGLT2 阻害薬による薬物療法を提供することを目的に、SGLT2 阻害薬の有効性と安全性について調査を行います。

### 【調査の対象となる患者さん】

2018 年 4 月から 2020 年 3 月までに SGLT2 阻害薬が新規で処方された患者さんを対象としています。

### 【研究方法】

調査の対象となる患者さんについて、電子カルテ（IBM）より調査を行います。

### 【調査項目】

年齢、性別、身長、体重、SGLT2 阻害薬の種類および用量、血清クレアチニン、推算糸

球体濾過量（eGFR）、HbA1c、併用薬、副作用発現状況

**【個人情報の取り扱い】**

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化します。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 中井 昌紀

**【研究実施体制】**

研究機関:愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者:助教 飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号:089-960-5731

研究分担者:薬剤師 新 美都希

薬剤師 都築 美穂

薬剤部長 田中 守

室長 高田 裕介

室長 木村 博史

室長 中井 昌紀

**【研究に関する問い合わせ先】**

本研究からご自身の情報を除いて欲しいという方は、下記の連絡先までお申し出下さい。また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は、下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報の保護および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答え致します。

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号:089-960-5731